

三宅島の地震活動 (2000.10~2001.1)

2000年10月から2001年1月までの火山処理装置で決まった震源分布図(図1~2)。「三宅島付近~新島・神津島周辺の地震活動(2000.10~2001.1)」の枠内の範囲を示したもの。観測点数が少なく、欠測期間があるために、震源が決まったものは少なく、震源精度も悪い。なお、マグニチュードは決められていない。また、阿古中観測点でS-P時間が3.0秒以内の地震の活動経過図(図3~6)。

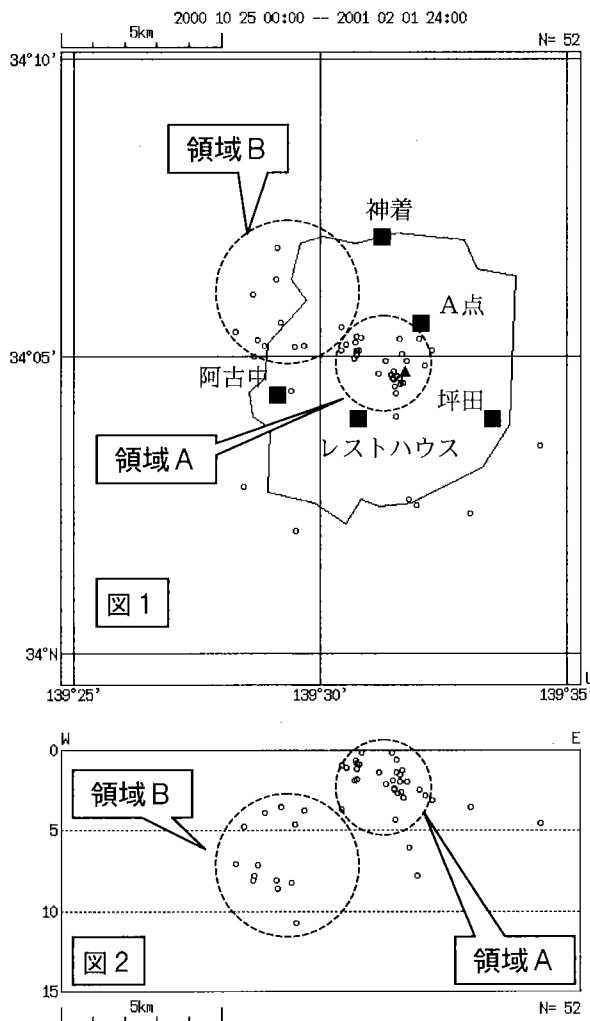


図1: 震央分布図: N=52
 図2: 東西断面図
 図3: 日別地震回数図(阿古中観測点のS-P時間が3.0秒以内): N=594
 図4: S-P時間の時系列図(阿古中観測点)
 図5: 振幅の時系列図(阿古中観測点の上下動成分)
 図6: S-P時間の度数分布(上: A点、下: 阿古中観測点)

注: 観測状況等により、検知される地震の下限及び震源決定される下限は一定に保たれていない(例えば12月3日には多発したが、観測条件が悪く震源決定された地震数は少ない)。

注: 地震計の運用期間(2000年10月25日~)
 ・A点: 10月25日~1月25日(断続的に欠測)
 ・阿古中、神着、坪田: 10月25日~(断続的に欠測)
 ・レストハウス: 1月25日~

